

別記様式第3号の7（第10条の2関係）

（第1面）

省エネ基準工事監理状況報告書（（誘導）仕様基準）

東 広 島 市 長
 （ 建 築 主 事 ）
 （ 建 築 副 主 事 ） 様
 指定確認検査機関

工事監理者 住 所
 氏 名
 () 建築士 () 登録 第 号
 () 建築士事務所 () 知事登録第 号
 電話番号 () -

次のとおり、工事監理の状況を報告します。
 なお、この報告書の記載事項は、事実と相違ありません。

項目	報 告 内 容			
	報 告 事 項	照合を行っ た設計図書	確認の方法	確認の 結 果
1 外皮	ア 断熱材の種類・仕様、厚さ及び施工範囲		A・B・C	
	イ 構造熱橋部の断熱補強の仕様及び範囲（鉄筋コンクリート造の場合のみ）		A・B・C	
	ウ 開口部の仕様（建具種類及び枠・ガラスの仕様等）及び庇がある場合の設置位置		A・B・C	
2 暖房設備	ア 暖房方式		A・B・C	
	イ 暖房設備の仕様及び設置状況（設置位置・台数及び暖房の範囲等）		A・B・C	
3 冷房設備	ア 冷房方式		A・B・C	
	イ 冷房設備の仕様及び設置状況（設置位置・台数及び冷房の範囲等）		A・B・C	
4 換気設備	ア 換気設備の仕様及び設置状況（設置位置・台数、ダクト径・長さ及び給排気口の位置・径等）		A・B・C	
5 照明設備	ア 非居室の照明設備の仕様及び設置状況		A・B・C	
6 給湯設備	ア 給湯設備の仕様及び設置状況		A・B・C	

- 注 1 この様式は、住宅（誘導）仕様基準（建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令第1条第1項第2号イ(2)及び同号ロ(2)の基準又は第10条第2号イ(2)及び同号ロ(2)の基準を用いて評価する方法をいう。）により建築物エネルギー消費性能基準に適合することを確認した建築物に係る工事監理の状況の報告に用いてください。
- 2 計算対象となる設備等がない場合は、当該設備等に係る項目の記載は不要とする。
- 3 「照合を行った設計図書」の欄は、建築基準法施行規則第1条の3に掲げる図書及び書類のうち、工事監理において照合に用いたものを記載してください。
- 4 報告事項1アの「断熱材の種類・仕様、厚さ及び施工範囲」について、第2面に

施工写真等を添付してください。写真撮影方法については、写真撮影マニュアルを参考にしてください。

- 5 「確認の方法」の欄は、次に掲げる記号のうち該当するものを○で囲んでください。なお、Cに該当する場合は、確認に用いた具体的な書類を記載することとし、その書類は、検査の際に確認する必要があるため、現場に備え置いてください。
 - A 目視又は試験による立会確認
 - B 計測等による立会確認
 - C 自主検査記録、施工記録、測定記録、納入仕様書、材料搬入報告書、工事写真、規格証明書、施工図、試験成績書等による確認
- 6 「確認の結果」の欄は、「適」又は「不適」のいずれかを記載することとし、「不適」を記載する場合には、建築主に対して行った報告の内容も併せて記載してください。なお、工事施工者が注意に従わなかった場合は、「不適」を記載してください。
- 7 不用の文字は、消してください。

(第2面)

断熱材の仕様、設置状況（施工写真）

1 全景写真
2 床断熱材
3 壁断熱材
4 天井（屋根）断熱材

- 注
- 1 写真は必ず明瞭なものにしてください。
 - 2 撮影場所がわかるよう、黒板等を用いるよう努めてください。
 - 3 写真は1～4の部位について、代表的な箇所1か所を添付してください。
 - 4 全景写真については、建物正面が全景で入るように撮影してください。
 - 5 各部位の断熱材について、仕様・厚さが分かる写真も添付してください。